

モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (毎月決算型) (為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として米ドル建投資証券への投資を通じ、米ドル建ての短期高利回り社債に実質的な投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的として、運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2020年7月31日～2021年1月15日

第1期	決算日：2020年 8 月17日	
第2期	決算日：2020年 9 月15日	
第3期	決算日：2020年10月15日	
第4期	決算日：2020年11月16日	
第5期	決算日：2020年12月15日	
第6期	決算日：2021年 1 月15日	
第6期末 (2021年1月15日)	基 準 価 額	10,495円
	純資産総額	762百万円
第1期～ 第6期	騰 落 率	5.7%
	分配金合計	75円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

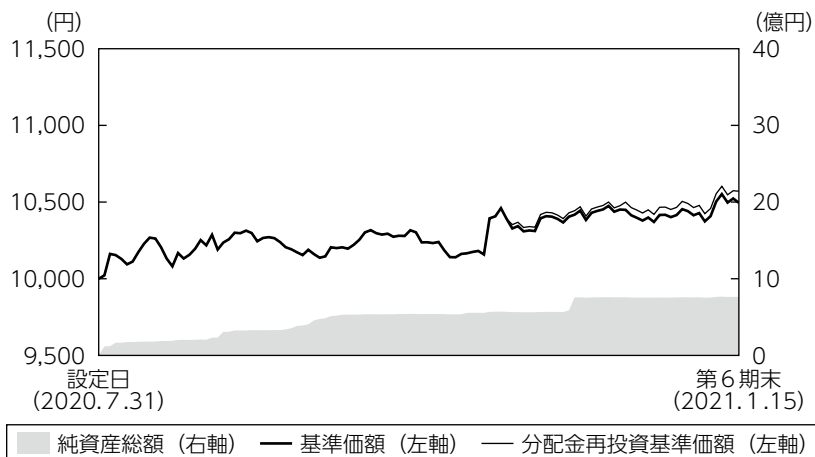
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



設 定 日： 10,000円

第 6 期 末： 10,495円

（既払分配金75円）

騰 落 率： 5.7%

（分配金再投資ベース）

（注）設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

- （注1）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注2）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- （注3）基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- （注4）分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。
- （注5）当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

債券保有によるクーポン収入に加え、債券価格の上昇により基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
USダラー・ショート・デュレーション・ハイイールド・ボンド・ファンド クラスZM	7.4%
D I A Mマネーマザーファンド	△0.0%

（注）USダラー・ショート・デュレーション・ハイイールド・ボンド・ファンド クラスZMの騰落率は米ドルベースで、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。なお、当作成期の米ドルのT T M（東京の対顧客電信売買相場の仲値）の騰落率は△0.7%となりました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第1期～第6期 (2020年7月31日 ～2021年1月15日)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	51円	0.499%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,285円です。
(投信会社)	(18)	(0.178)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(31)	(0.305)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.015)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.024	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.022)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.001)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	54	0.523	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

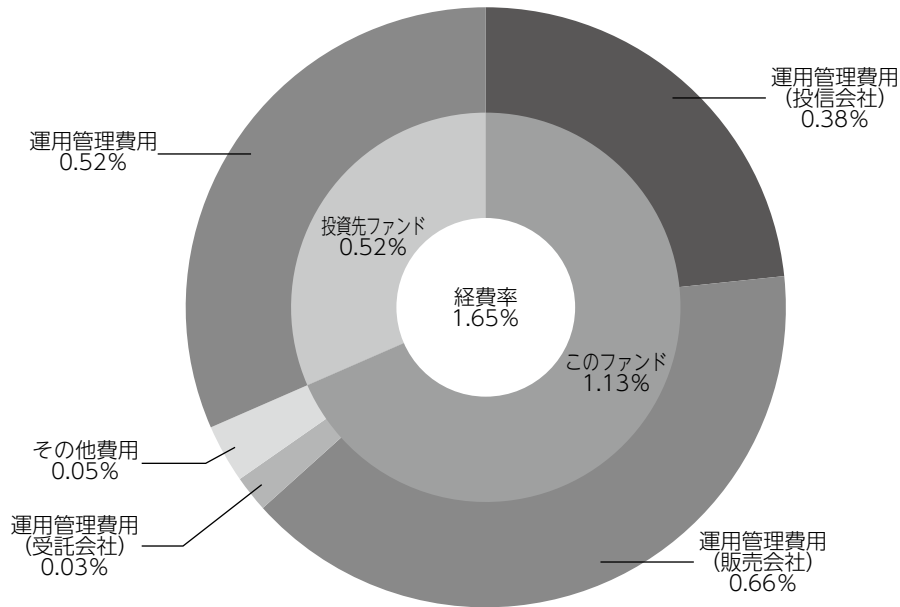
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.65%です。



経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）（①+②）	1.65%
①このファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.52%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

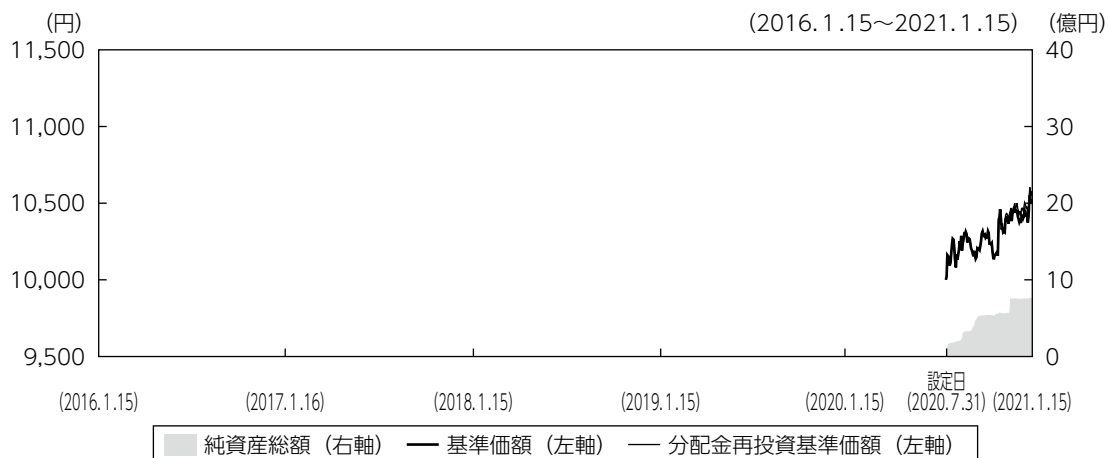
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がありますが、上記には含まれておりません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

	2020年7月31日 設定日	2021年1月15日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,000	10,495
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	75
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	5.7
純資産総額 (百万円)	118	762

- (注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
- (注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

投資環境

米国ハイイールド債券市場は、当作成期初は新型コロナウイルスの感染拡大を受けた都市封鎖やデフォルト率の上昇に対する懸念があったものの、ＦＲＢ（米連邦準備理事会）による量的緩和政策の強化や、政府による経済支援策を背景に上昇しました。その後も、事前予想を上回るペースでの経済の回復、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展などを背景に堅調な推移が続きました。

当作成期の米ドル／円相場は、米ドル安円高となりました。経済活動の再開を受けて米景気の回復期待が広がったことなどから、米ドル買い・円売りが優勢となる場面も見られましたが、ＦＲＢによる金融緩和策の長期化観測や欧米での新型コロナウイルスの感染再拡大などを受けて、米ドルは対円で下落しました。

国内短期金融市場では、３ヵ月物国庫短期証券利回りは日銀の金融緩和政策の影響からマイナス圏で推移しました。日銀が大規模な金融緩和政策を続けており、国債利回りに低下圧力がかかっていることが要因となりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

ＵＳダラー・ショート・デュレーション・ハイイールド・ボンド・ファンド クラスＺＭの組入比率は原則として高位を維持し、ＤＩＡＭマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●ＵＳダラー・ショート・デュレーション・ハイイールド・ボンド・ファンド クラスＺＭ

ミドル・マーケットの発行体*のハイイールド債券に注目して運用しました。格付別構成比率は、Ｂ格を中心に保有しました。業種別では、エネルギーセクターに対しては保守的な投資方針を続け銘柄選択に注力しました。一方で、建設資材セクターについては比較的強気の見通しを維持しました。更に、新発プレミアムが魅力的であることから旺盛な新規発行市場を活用し、銘柄の入れ替えを行いました。

※通常のハイイールド債券の発行体と比較して、相対的に債券の総発行額が少額の発行体を指します。

●ＤＩＡＭマネーマザーファンド

残存期間の短い国債や政府保証債などで運用を行いました。

分配金

当作成期の収益分配金につきましては第1期～第3期は分配方針に基づき無分配、第4期～第6期は運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期
	2020年7月31日 ～2020年8月17日	2020年8月18日 ～2020年9月15日	2020年9月16日 ～2020年10月15日	2020年10月16日 ～2020年11月16日	2020年11月17日 ～2020年12月15日	2020年12月16日 ～2021年1月15日
当期分配金（税引前）	－円	－円	－円	25円	25円	25円
対基準価額比率	－％	－％	－％	0.24％	0.24％	0.24％
当期の収益	－円	－円	－円	25円	25円	25円
当期の収益以外	－円	－円	－円	－円	－円	－円
翌期繰越分配対象額	206円	238円	274円	328円	448円	494円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

USダラー・ショート・デュレーション・ハイイールド・ボンド・ファンド クラスZMを高位に組入れることを基本とした運用を行います。また、D I AMマネーマザーファンドへの投資も行います。

●USダラー・ショート・デュレーション・ハイイールド・ボンド・ファンド クラスZM

F R Bの量的緩和策が長期化する可能性が高いことに加え、デフォルト率が低下傾向に向かうと考えられており、市場は堅調に推移すると予想します。一方、個別銘柄選択については、負け組を避け、勝ち組を選別することが重要と考えます。ミドル・マーケット銘柄は、出遅れ感があり、依然、投資魅力度は高く、今後の更なる市場の上昇を期待しています。今後も元本保全を重視したポートフォリオを維持しつつ、リスク調整後リターンの獲得をめざす方針です。

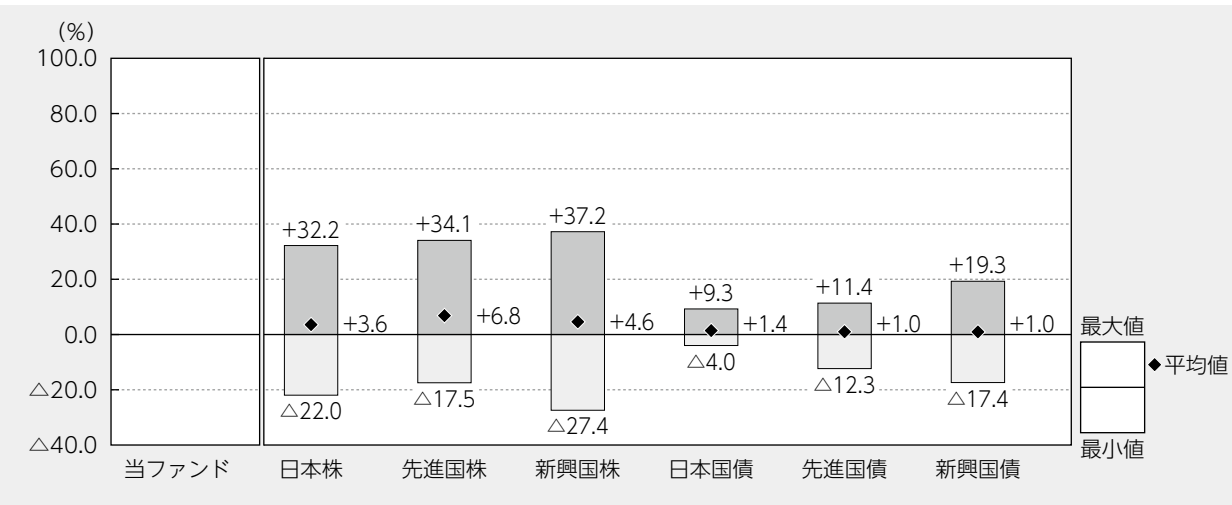
●D I AMマネーマザーファンド

日銀は新型コロナウイルスによる景気落ち込みに対処するため、緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も公社債を中心に投資を行い、安定的な運用をめざしていきます。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券
信 託 期 間	2020年7月31日から2030年7月12日までです。
運 用 方 針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的として、運用を行います。
主要投資対象	主として、以下の投資信託証券に投資します。 ・ルクセンブルグ籍外国投資法人 ＵＳドルー・ショート・デュレーション・ハイイールド・ボンド・ファンド クラスＺＭ 米ドル建投資証券（以下、「ハイイールド・ファンド」といいます。） ・ＤＩＡＭマネーマザーファンド受益証券
運 用 方 法	ハイイールド・ファンドは主として米ドル建ての短期高利回り社債に投資を行います。 当ファンドにおけるハイイールド・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。 原則として為替ヘッジは行いません。
分 配 方 針	毎決算時（原則として毎月15日。休業日の場合は翌営業日。）に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して、決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。 ※第1期（2020年8月17日）から第3期（2020年10月15日）までの決算は収益分配を行いません。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド：2020年12月末現在、設定後1年を経過していないため、データはありません。

代表的な資産クラス：2016年1月～2020年12月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

*各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2021年1月15日現在）

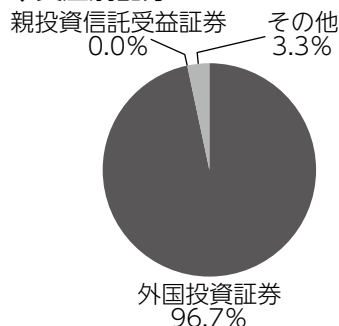
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：2ファンド)

	第6期末
	2021年1月15日
ＵＳダラー・ショート・デュレーション・ハイイールド・ ボンド・ファンド クラスＺＭ	96.7%
ＤＩＡＭマネーマザーファンド	0.0
その他	3.3

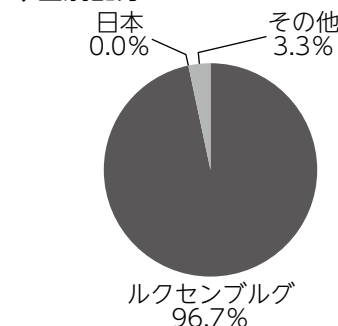
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

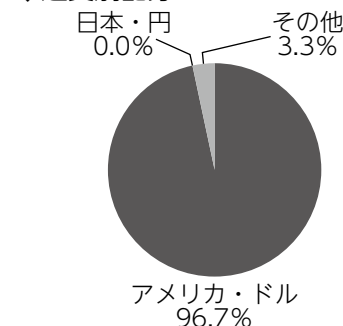
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

項目	第1期末	第2期末	第3期末	第4期末	第5期末	第6期末
	2020年8月17日	2020年9月15日	2020年10月15日	2020年11月16日	2020年12月15日	2021年1月15日
純資産総額	187,196,857円	330,165,765円	535,715,396円	564,555,938円	758,304,583円	762,636,951円
受益権総口数	183,413,716口	322,462,601口	521,419,562口	546,607,033口	725,737,470口	726,673,855口
1万口当たり基準価額	10,206円	10,239円	10,274円	10,328円	10,449円	10,495円

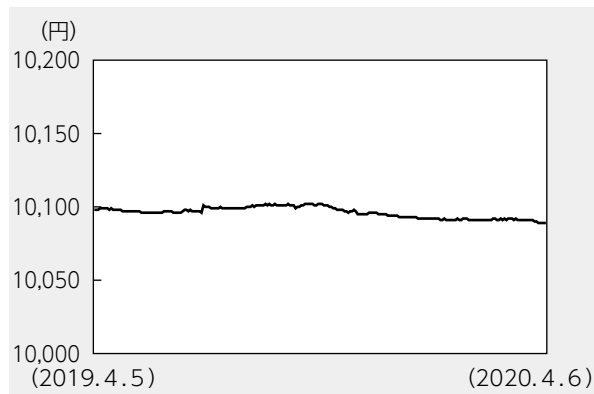
(注) 当作成期間（第1期～第6期）中における追加設定元本額は609,898,762円、同解約元本額は1,647,698円です。

※ ＵＳダラー・ショート・デュレーション・ハイイールド・ボンド・ファンド クラスＺＭは、モルガン・スタンレーＵＳハイイールド債券ファンド（毎月決算型）（為替ヘッジなし）の決算日時点でアニユアルレポートが発行されていないため、「組入ファンドの概要」は開示しておりません。

組入ファンドの概要

【D I AMマネーマザーファンド】（計算期間 2019年4月6日～2020年4月6日）

◆基準価額の推移



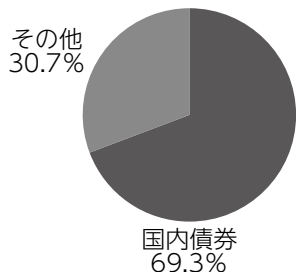
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
389回 利付国庫債券（2年）	日本・円	26.3%
391回 利付国庫債券（2年）	日本・円	17.6
392回 利付国庫債券（2年）	日本・円	8.8
388回 利付国庫債券（2年）	日本・円	8.8
112回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	2.6
474回 名古屋市公募公債 10年	日本・円	1.3
27年度2回 千葉県公募公債	日本・円	1.3
27年度 京都府京都みらい債	日本・円	1.2
117回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	0.5
133回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	0.4
組入銘柄数	11銘柄	

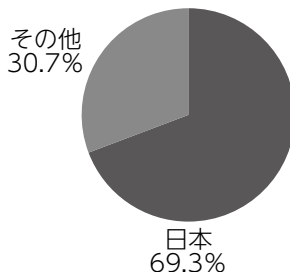
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

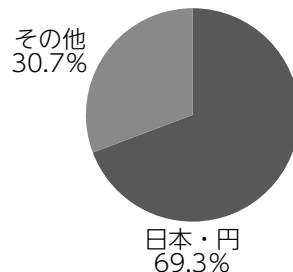
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

（注2）組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

（注3）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注4）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

（注5）計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（株東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。